



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側
受賞企業紹介

第3回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

エコで便利なシェアサイクル事業の要は 独自開発の高品質「スマートロック」



プラン名
24時間無人で
貸出・返却可能なシェアサイクル事業

代表取締役
谷口 創太



株式会社きゆうべえ

京都市東山区下堀詰町246ティブンビル2F
TEL 050-1745-1200
https://kotobike.jp

プロフィール

京都大学経済学部経営学科卒業。2012年、家業である自転車店の事業を承継し代表取締役社長に就任。伝統を守りながらも、新規事業・業務改革を牽引する。近年はシェアサイクルをはじめ、地方自治体と連携して、自転車を活用した地域活性化事業に注力している。事業活動の傍ら、日本初の自転車を学ぶ専門学校の外部委員を務める等、人材育成・教育にも積極的に取り組む。

コロナ禍以前、出張で海外へ行くことが度々ありました。さまざまな国に行きましたが、中でもドイツやフランスでシェアサイクルが普及しているのを見て、「これは日本でもビジネスになるはずだ」と確信し、2019年にシェアサイクル「kotobike（コトバイク）」をリリース。コロナ禍による観光客激減の影響を大きく受けましたが、このところの国内外からの観光客の回復を受け、kotobikeの本格展開を再び進めているところです。ちょっとした空きスペースでもシェアサイクルポート（駐輪拠点）にできることが特徴で、宿泊施設に限らず潜在ニーズを掘り起こし、設置箇所を増やしていきたいと思っています。

シェアサイクル事業で一番難しい挑戦は、「スマートロック」の開発でした。自転車を24時間いつでも借りたり返したりでき、さらにポート間での乗り捨てを可能とするためには、スマホアプリで操作できるスマートロックが必要だったのです。始めは海外製品を20種ほど試してみましたが、防水性・耐久性に疑問が残るものや、正確性・安全性に不安があるものばかりで、事業の心臓部に安心して使えるクオリティではないと感じました。そこで独自開発することに決め、試行錯誤の末に完成。ありがたいことに、2022年にはこのスマートロックが京都知恵産業創造の森に「京都スマートプロダクト」として認定され、品質の高さを認めていただきました。

自転車活用推進法の施行や、SDGsの観点からも健康的でエコな自転車は注目されていますが、ヘルメット着用などの努力義務等、安全面も重視されるようになってきました。弊社では自転車の普及を目指すだけでなく、安全の啓蒙活動も行う等、自転車のチカラで社会がより一層豊かになっていくように、全力でお手伝いし続けます。

👑 ビジネスプランの詳細はこちら



次のステップは「kotobike」の利用者増加のためのポート開拓。京商ではポート設置が可能な企業とのマッチング支援で、「自転車で地域を豊かにする」という谷口社長の夢を後押しします！

京商からの支援

